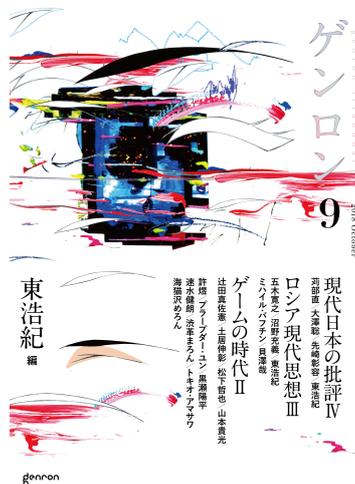


2018年10月30日

株式会社ゲンロン

## **東浩紀編集の思想誌『ゲンロン』第1期全9巻、ついに完結！** **直販サイト「ゲンロンショップ」にて先行発売&11月8日(木)より書店発送**

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区 代表取締役：東浩紀）は、2018年10月に思想誌『ゲンロン』の最新刊『ゲンロン9』を出版します。本書は2015年にスタートした第1期・全9巻の終刊号です。



第1期終刊号『ゲンロン9』

批評家・東浩紀が編集長を務める思想誌『ゲンロン』は、『思想地図β』（2011-2013年）の後継誌として、2015年12月に創刊しました。1975年以降の日本批評史を詳細な年表とともに総括する「現代日本の批評」、南北軍事境界線のアートプロジェクトに取材した「脱戦後日本美術」、知られざる保守思想家ドゥーギンを始め最新の動向を紹介した「ロシア現代思想」など、既存の思想誌の枠組みを超えた特集を掲げ、好評を博しています。また創刊準備号として構想された東浩紀の単著『ゲンロン0 観光客の哲学』は毎日出版文化賞を受賞し、3万部を超えるベストセラーとなりました。

創刊時より3年9冊分をひとまとまりとして構想しており、このたび『ゲンロン9』（直販サイト「ゲンロンショップ」(<https://genron.co.jp/shop/>)にて先行発売後、11月8日(木)より書店発送)をもって第1期が完結することになります。今号は終刊号として、過去の人気特集を継承し、3つの小特集を掲載しました。ミハイル・バフチンの草稿断片の本邦初訳や五木寛之、沼野充義、東浩紀の鼎談を収めた「ロシア現代思想III」、荻部直、大澤聡、先崎彰容を招き、東浩紀とともに明治以降の日本思想を

概観する「現代日本の批評IV」、ゲームの軍事利用、表象としてのゲーム、映画から見たゲームなど多様な論考を収めた「ゲームの時代II」。

さらにメフィスト賞作家を始め出身者のデビューが相次ぐ「ゲンロン 大森望 SF 創作講座」、第4期を迎えた「ゲンロン 佐々木敦 批評再生塾」の最優秀作品をそれぞれ収録。バフチンから新人の商業デビュー作まで、『ゲンロン』独自のラインナップで第I期を締めくくります。

第II期『ゲンロン』は年2回刊。2019年4月の『ゲンロン10』は「再創刊号」と位置づけ、東浩紀が旧ソ連のラーゲリ跡・ペルミ36を訪ねる取材記など、第I期を踏まえたいわば「実践編」として、大胆に誌面を再構成します。こちらもご期待ください。

また、第I期の完結を記念して、「現代日本の批評」特集の提案者でもある批評家の大澤聡さんと、編集長の東浩紀によるトークイベントを開催します。

日時：2019年1月18日（金） 19:00-

会場：VOLVO STUDIO AOYAMA（東京都港区北青山3-3-11 1F）

※予約開始は12月を予定しております。

## 書籍紹介

東浩紀編『ゲンロン9』

| サイズ | A5 判並製

| ページ数 | 380 ページ

| ISBN コード | 978-4-907188-28-3

| 定価 | 2400 円+税

| 発売日 | 2018 年 10 月 31 日

| 電子版 | あり（2018 年 11 月配信予定）

| 発行所 | 株式会社ゲンロン <https://genron.co.jp/>

## 問い合わせ先

株式会社ゲンロン

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F

Tel 03-6417-9230 FAX 03-6417-9231

E-mail [tokuhisa@genron.co.jp](mailto:tokuhisa@genron.co.jp) 担当 徳久倫康（とくひさ・のりやす）